

Mate

液晶一体型

(Windows XP Professionalインストールモデル)

(Windows XP Home Editionインストールモデル)

(Windows 2000 Professionalインストールモデル)



はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを、総称してWindows XPと表記します。
また、Windows 2000 Professionalを、以降Windows 2000と表記します。

なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ

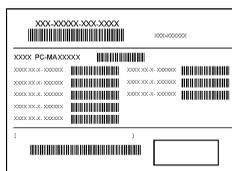
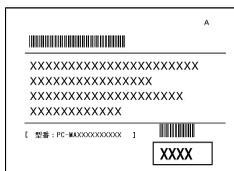
- | | | |
|----------|--|----|
| 1 | 型番を控える | 2 |
| | 本製品の型番を控えます。 | |
| 2 | 添付品の確認 | 8 |
| | 不足しているものや、破損しているものがないかを確認します。 | |
| 3 | 設置場所の決定 | 10 |
| | 設置する場所を決めます。 | |
| 4 | 添付品の接続 | 12 |
| | 使い始めるのに必要な機器を接続します。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。 | |
| 5 | Windowsのセットアップ | 18 |
| | はじめて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。 | |
| 6 | お客様登録 | 27 |
| | お客様の登録をします。 | |
| 7 | マニュアルの使用方法 | 27 |
| | 添付されているマニュアルの使い方について説明しています。 | |
| 8 | 使用する環境の設定と上手な使い方 | 30 |
| | 使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。 | |

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。



左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、「P.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.8「2 添付品の確認」へ進んでください。

- ④ FDD、CD-ROMまたはCD-R/RW with DVD-ROM、キーボードの種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROMまたはCD-R/RW with DVD-ROM	キーボードの種類
	A	FDD	CD-ROM	テンキー付PS/2小型キーボード (縦置収納型)
	D		CD-R/RW with DVD-ROM	PS/2 109キーボード
	E			テンキー付PS/2小型キーボード (縦置収納型)
	M		CD-ROM	USB 109キーボード
	S		CD-R/RW with DVD-ROM	
	T		CD-ROM	PS/2 109キーボード

- ⑤ 合計メモリの容量、通信機能、再セットアップ用媒体のあるなしを表しています。

✓	型番	合計メモリの容量	通信機能	再セットアップ用媒体
	5	512MB	LAN	添付
	8	1GB		未添付
	C	256MB		添付
	E			未添付
	G	512MB		未添付
	N	1GB		

- ⑥ ハードディスクの容量を表しています。

✓	型番	ハードディスクの容量
	1	120GB
	8	80GB

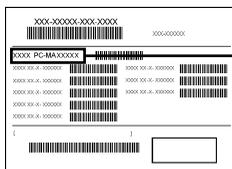
上記の①～⑥のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.8^F 2 添付品の確認へ進んでください。

フリーセクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、P.8「**2** 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする



フレーム型番

PC-MY ① FF ② ③ D

の意味は次の通りです。

① CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型番	クロック周波数
	10	1 GHz
	80	800 MHz

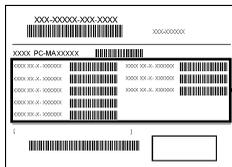
② ディスプレイの種類を表しています。

✓	型番	ディスプレイの種類
	E	17型TFT-LCD
	R	15型TFT-LCD

③ インストールOSの種類を表しています。

✓	型番	インストールOSの種類
	C	Windows XP Professional
	R	Windows XP Home Edition
	Z	Windows 2000 Professional

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする



コンフィグオプション型番

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、①～③はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選択必須COP)、④～⑧は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

- ① PC-D-KB 7はキーボードの種類を表しています。(選択必須COP)

✓	型番	キーボードの種類
	10T	テンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)
	10U	テンキー付きUSB小型キーボード
	PS2	PS/2 109キーボード
	USB	USB 109キーボード

- ② PC-D-1H Aはハードディスクの容量を表しています。(選択必須COP)

✓	型番	ハードディスクの容量
	F12	120GB
	F80	80GB
	S12	120GB(StandbyDisk Soloあり)
	S80	80GB(StandbyDisk Soloあり)

- ③ PC-D-ME Aは合計メモリの種類と容量を表しています。(選択必須COP)

✓	型番	合計メモリの種類と容量
	F10	DDR SDRAM 1GB
	F25	DDR SDRAM 256MB
	F52	DDR SDRAM 512MB

- ④ PC-D-CD 3はCD-ROM系を表しています。(任意選択COP)

選択しなかった場合は、CDレスモデルになります。

✓	型番	CD-ROM系
	CDV	CD-ROM
	DCV	CD-R/RW with DVD-ROM
	DMV	DVDマルチドライブ

⑥ PC-D-NE 7は通信機能の種類を表しています。(任意選択COP)

✓	型番	通信機能の種類
	WLB	無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

⑥ PC-D-AP 7は選択アプリケーションの種類を表しています。(任意選択COP)

✓	型番	選択アプリケーションの種類
	MPE	Office XP Professional
	MSE	Office XP Personal
	SSE	Office Personal 2003

⑦ PC-D-SU 2-Sは保守パックの種類を表しています。(任意選択COP)

✓	型番	保守パックの種類
	101	PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守
	102	PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守

⑧ PC-D-SP 4は再セットアップ用媒体を表しています。(任意選択COP)

✓	型番	再セットアップ用媒体
	FC2	再セットアップ用CD-ROM(Windows 2000 Professionalモデル専用)

以上で型番を控えるは完了です。

次のページの「2 添付品の確認」へ進んでください。

2

添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙が入っている場合があります。

① 箱の中身を確認する

P.3の1またはP.5の1、P.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

は、各々1つにバックされています。

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

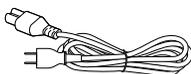
はじめにお読みください(このマニュアルです)

本体(キーボードなどの周辺機器を含まないMateを指します)

キーボード

マウス

電源ケーブル



ACアダプタ



ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)

(箱の中身を確認後必ずお読みください)

ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)

バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/
マニュアルCD-ROM(Windows XPの場合)または、アプリケーションCD-ROM/
マニュアルCD-ROM(Windows 2000の場合)
シリアルATAドライバディスク(Windows XPのみ)

安全にお使いいただくために
活用ガイド 再セットアップ編
NEC PCあんしんサポート
環境ガイド




Windows® XP Professional CD-ROM、またはWindows® XP Home Edition CD-ROM(Windows XPのみ)
各インストールOS用添付品
Windows® XP Professionalファーストステップガイド、
Windows® XP Home Editionファーストステップガイド、または
Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド
(P.3 1-④、またはP.5 1-④でインストールOSの種類がわかります)

再セットアップ用媒体を選択した場合添付(Windows 2000のみ)



再セットアップ用CD-ROM

CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、およびDVDマルチドライブの場合添付



WinDVD CD-ROM / RecordNow DX / DLA CD-ROM

ハードディスク(StandbyDisk Soloあり)を選択した場合添付



StandbyDisk Solo 日本語版 CD-ROM
ユーザー登録書(シリアル番号の記載があります)

選択アプリケーション




Microsoft® Office Personal 2003、
Microsoft® Office XP Personal、または
Microsoft® Office XP Professional
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
(P.3 1-④、またはP.7 2-⑥で選択アプリケーションの種類がわかります)

Office XP Personal、またはOffice XP Professionalを選択した場合添付



Office XP Service Pack 2 CD-ROM

保守パックを選択した場合添付



PC98-NXSeriesSupportPack

② 本体の底面にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MY XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3 設置場所の決定」へ進んでください。

3

設置場所の決定

設置場所を決める

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ~ 35、湿度20% ~ 80%(ただし結露しないこと)

平らで十分な強度があり、落下のおそれがない(机の上など)

× 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだ Mate を指します)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く
直射日光が当たる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本機の接続部は、背面および両側面にあります。いきなり壁際に本機を置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは.....

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブルなど)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつかけたりすると、故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱いってください。

以上で添付品の確認は完了です。

次のページの「**4** 添付品の接続」へ進んでください。

4

添付品の接続

接続するときの注意

- ・ 本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない故障の原因となります。

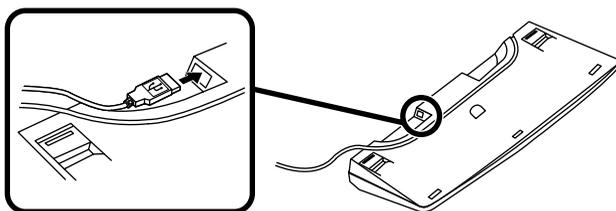
添付品の接続方法

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、❶から❸のいずれかで接続してください。

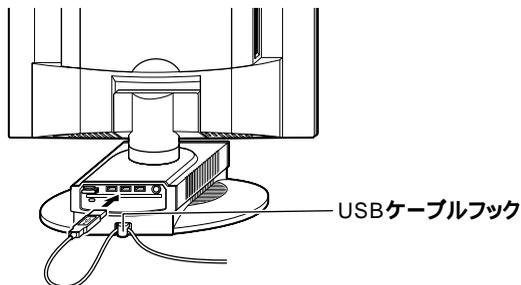
- ❶ USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



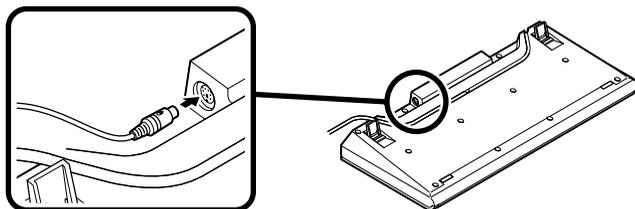
USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

この場合、本体の3つのUSBコネクタの、どれを使用しても構いません。USBケーブルフックを利用するとUSBコネクタの抜け防止に役立ちます。

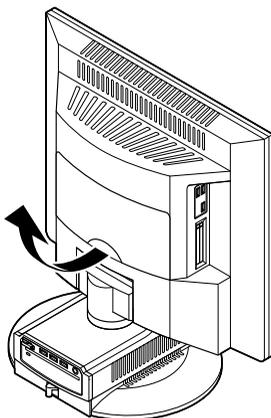


- ②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する

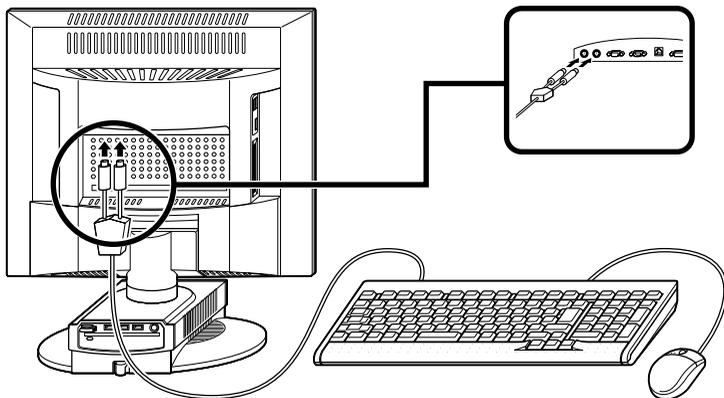


本体背面のケーブルカバーを取り外す



キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のアイコンに従ってそれぞれ接続する

PS/2接続のキーボードを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。



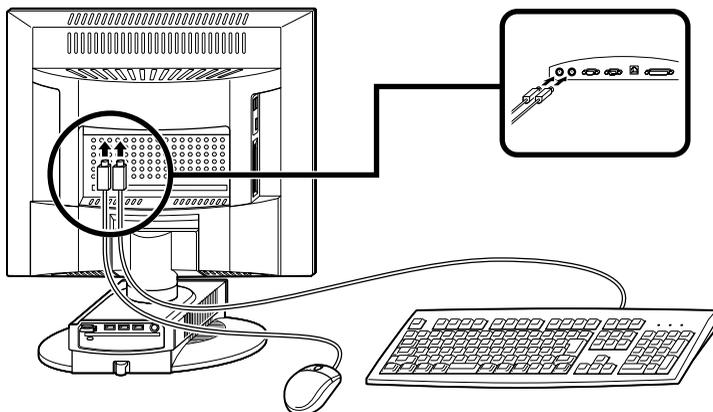
手順 ②で取り外したケーブルカバーの上側から出ている2つのツメを、本体側の穴に入れてから、ケーブルカバーを元通り取り付け

③PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

P.13「②- 本体背面のケーブルカバーを取り外す」と同じ方法で、ケーブルカバーを取り外す

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を本体の同色のアイコンに従ってそれぞれ接続する

PS/2接続のキーボードを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。



手順 で取り外したケーブルカバーの上側から出ている2つのツメを、本体側の穴に入れてから、ケーブルカバーを元通り取り付ける

2. リンクケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

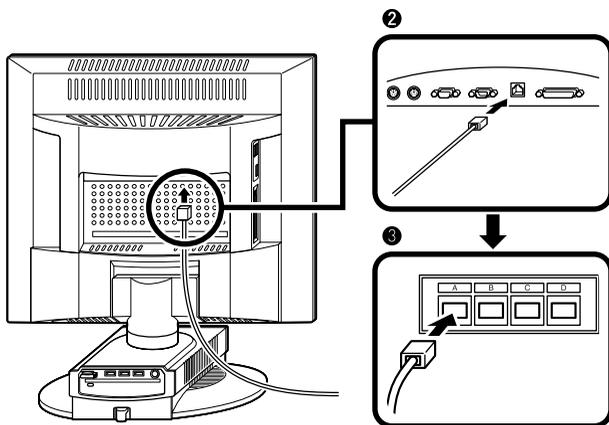
稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

① P.13「②- 本体背面のケーブルカバーを取り外す」と同じ方法で、ケーブルカバーを取り外す

② リンクケーブルのコネクタを、本体のアイコン()に従って接続する

リンクケーブルを接続する際、過度の力がかかると本体が転倒するおそれがありますので、必ず本体上部を片方の手で支えながら接続してください。

- ③ マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



- ④ 手順①で取り外したケーブルカバーの上側から出ている2つのツメを、本体側の穴に入れてから、ケーブルカバーを元通り取り付け

3. ACアダプタと電源ケーブルを接続する

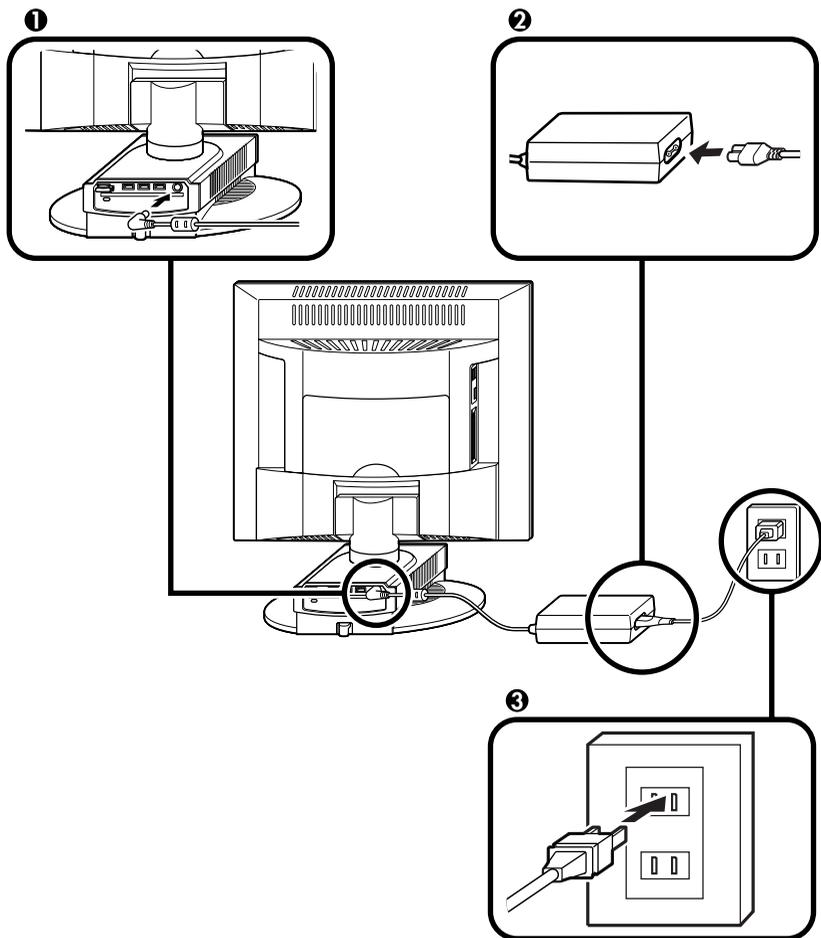
①～③の順番に接続してください。

① ACアダプタを本体背面のAC電源コネクタに差し込む

② 電源ケーブルをACアダプタに接続する

③ 電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は終了です。
次のページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

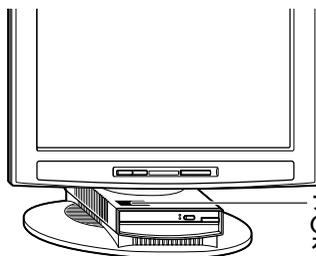
セットアップをするときの注意

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない
この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「5 Windowsのセットアップ」から「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。
- ・ 途中で電源を切らない
作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので慌てずに手順通り操作してください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.26「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

- ・ Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。
- ・ Windows XPをお買い上げの方は、Windowsセットアップ中にプロダクトキーを入力する必要があります。プロダクトキーは再セットアップをするときにも必要になりますので、本体から剥がさないようにしてください。

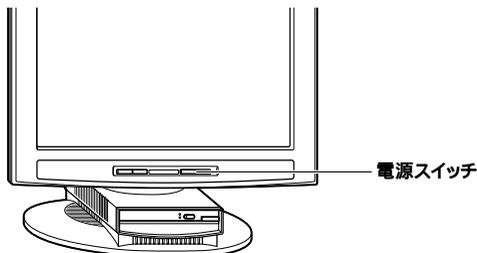


プロダクトキー
(プロダクトキーは
本体に貼付されています)

電源を入れる

①電源スイッチを押す

電源ランプが点灯します。



セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、「1.Windows XP Professionalのセットアップ」P.21「2.Windows XP Home Editionのセットアップ」またはP.22「3.Windows 2000のセットアップ」に進んでください。

また、Ghostについては、「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- ・ これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- ・ 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- ・ 手順 ~ の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

①「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

②「使用許諾契約」の画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

③内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

- ④「プロダクトキーを入力してください」の画面が表示されたら、プロダクトキーを入力し、「次へ」ボタンをクリック

プロダクトキーは、本体に貼付されています。

- ⑤「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- ⑥「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック
- ⑦「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ」または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- ⑧「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたら、「省略」ボタンをクリック
- ⑨「Microsoftにユーザ - 登録する準備はできましたか？」の画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- ⑩「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後は変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

- ⑪「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、P.24「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- ・ これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- ・ 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- ・ 手順 ~ の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

①「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

②「使用許諾契約」の画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

③内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合セットアップは続行できません)

④「プロダクトキーを入力してください」の画面が表示されたら、プロダクトキーを入力し、「次へ」ボタンをクリック

プロダクトキーは、本体に貼付されています。

⑤「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

⑥「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

⑦「Microsoftにユーザ - 登録する準備はできましたか？」の画面が表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

⑧「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後は変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⑨「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、P.24「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

3. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

②「ライセンス契約」の画面が表示される

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

(同意しない場合、セットアップは続行できません。)

「次へ」ボタンをクリック

③「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック
カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

- ④「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

「次へ」ボタンをクリック

- ⑤「Windows 2000セットアップ」の画面が表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

- ⑥再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

- ⑦「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ⑧「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

手順⑦で「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windows へのログオン」の画面が表示されます。

手順④で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」の画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」の画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」の画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

Windows 2000のセットアップが終了したら、「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

Windows XPをお使いの場合は、一度電源を切った後、再度電源を入れ、次の「Windowsのライセンス認証を行う」へ進んでください。

Windows 2000で、スマートセクション、およびフリーセクションで、Office XP Personal、およびOffice XP Professionalを選択した場合は、一度電源を切った後、再度電源を入れ、P.25の「Microsoft® Office XP Service Packをインストールする(Office XPモデルのみ)」へ進んでください。

1 .Windows XPの終了

①「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

②「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

2 .Windows 2000の終了

①「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック

②「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

Windowsのライセンス認証を行う

Windows XPを使用するには、ライセンス認証が必要です。

「ヘルプとサポート」をご覧ください、必ずWindowsのライセンス認証を行ってください。

スマートセクション、およびフリーセクションで、Office XP Personal、およびOffice XP Professionalを選択した場合は、次の「Microsoft® Office XP Service Packをインストールする(Office XPモデルのみ)」へ進んでください。

以上で、Windowsのセットアップは完了です。

P.27「6 お客様登録」へ進んでください。

Microsoft® Office XP Service Packをインストールする(Office XPモデルのみ)

Office XP Personal、またはOffice XP Professionalモデルをお使いの方は、「Microsoft® Office XP Service Pack 1」 「Microsoft® Office XP Service Pack 2」をインストールしてください。

- ・ 「Microsoft® Office XP Service Pack 1」 「Microsoft® Office XP Service Pack 2」の順番でインストールしてください。また、Windows 2000をお使いの場合は、「Microsoft® Office XP Service Pack 2」をインストールする前に「Office XP 入力システムアップデート」をインストールしてください。
- ・ CDレスモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークに割り当ててください。

インストール方法、または修正事項については、「Office XP Service Pack 2 CD-ROM」の次の箇所をご覧ください。

- ・ 「Office XP SP-1アップデート(標準アップデート)」
- ・ 「Office XP 入力システムアップデート」(Windows 2000のみ)
¥SP1¥SP1INST.HTM
- ・ 「Office XP SP-2 アップデート(標準アップデート)」
¥SP2¥SP2INST.HTM

メモ

- ・ インストール後、任意の場所に保存したファイル「Oxpsp1.exe」「Oxpaiiu.exe」「Oxpsp2.exe」は削除することをおすすめします。
- ・ インストール中に他のアプリケーションが起動していると、アプリケーションを終了するようメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示されたときは、「無視」ボタンをクリックしてください。
- ・ インストールの途中で「Office XP Personal」または「Office XP Professional」CD-ROMが必要になる場合がありますので、あらかじめ用意しておいてください。
- ・ 「ここにショートカットを作成することはできません。デスクトップ上に作成しますか？」と表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

以上で、Windowsのセットアップは完了です。

P.27「6 お客様登録」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- ・ A Cアダプタ、電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と A Cアダプタ、A Cアダプタと電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む
電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- ・ 電源を入れて、表示される画面をチェックする
CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)
セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows は起動しません。Windows を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- ・ パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

6

お客様登録

添付の『NEC PCあんしんサポート』をご覧になり、インターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

以上でお客様登録は完了です。

次の「7 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7

マニュアルの使用方法

本機に添付またはCD-ROM(「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」または、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)内に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。

また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「その他」の「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、「Mate/Mate R 電子マニュアル」として「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」または、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate R 電子マニュアル」の使用方法については、P.29「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

各インストールOS用ガイド

『Microsoft® Windows® XP Professionalファーストステップガイド』

『Microsoft® Windows® XP Home Editionファーストステップガイド』

『Microsoft® Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』

各Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。

(Windows 2000の場合は、ヘルプの中にあるオンライン形式の『Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』でもご覧いただけます。)

『活用ガイド 再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型(Windows XP Professionalインストールモデル、Windows XP Home Editionインストールモデル、Windows 2000 Professionalインストールモデル)』

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップするとき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

『環境ガイド』

環境に関する情報について知りたいときにお読みください。

選択アプリケーションのユーザズマニュアル

モデルによって、Office Personal 2003、Office XP Personal、またはOffice XP Professionalのマニュアルが添付されています(P.2「**1**型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

無線LAN用マニュアル

『無線LAN(IEEE802.11a/b/g)について』

無線LAN各機能について知りたいときにお読みください。

『NEC PCあんしんサポート』

パソコンに関する相談窓口、故障時のサービス網やNECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press/>

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

CDレスモデルをお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。

- ① CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDマルチドライブに、本機に添付の「バックアップCD-ROM(OSを除く)アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする
- ② 「エクスプローラ」または「マイコンピュータ」を開く
- ③ CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック
- ④ 「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック
「Mate/Mate R 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 5.0をインストールしておく必要があります。詳しくはMate/Mate R 電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加『Acrobat Reader 5.0』をご覧ください。



- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」等の日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくとう便利です。
- NECの企業向けパソコン関連総合サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
<http://nec8.com/>
「サポート情報」「商品情報・消耗品」「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(電子マニュアル)」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。
また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
<http://pcm.mepros.com/>

以上でマニュアルの使用方法は完了です。

次のページの「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型』および『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので削除しないでください。以下の方法でお読みください。

Windows XPの場合

- ・「Mate/Mate R 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン 「すべてのプログラム」 「補足説明」をクリック

Windows 2000の場合

- ・「Mate/Mate R 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」 「補足説明」をクリック

2. Windows XP のService Packについて

Service Pack 1

Windows XPをお使いの場合、本機にはService Pack 1がインストールされています。ただし、Service Pack 1を削除することはできません。

3. Windows 2000のService Packについて

Service Pack 4

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 4がインストールされています。Service Pack 4を削除する場合は、必ず『活用ガイド ソフトウェア編』 「アプリケーションの概要と削除/追加(Windows 2000 Professional)」の「Service Packについて」をご覧ください。必要に応じて削除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

4. Windows Updateについて

Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateを定期的実施してください。Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」または「ヘルプ」をご覧ください。

5. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、本体の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型』PART1 本体の構成各部の「セキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

6. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド ソフトウェア編』メンテナンスと管理の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

①Masty Data Backup

本機に内蔵されているハードディスクドライブは非常に精密に作られています。少しの振動や衝撃も故障の原因となることがあります。ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまう、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップをとるようおすすめします。

本機にはハードディスクドライブのデータをバックアップするアプリケーション(Masty Data Backup)が、『バックアップCD-ROM(OSを除く)アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM』または『アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM』に添付されています。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型』PART1 本体の構成各部の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

② StandbyDisk Solo

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。

稼働中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動しシステムを復旧することが可能です。

StandbyDisk Soloは「ハードディスク(StandbyDisk Soloあり)」を選択した場合のみ添付されています。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加の「StandbyDisk Solo」をご覧ください。

③ StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。稼働中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

④ BIOSセットアップメニュー

「System backup reminder」を設定すると、本機起動時にバックアップを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことができます。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型』PART3 システム設定の「Securityの設定」をご覧ください。

7. 利用する添付アプリケーションの設定

McAfee VirusScan Onlineなど

本機には、ウイルスを検査・駆除するアプリケーション(McAfee VirusScan Online)が「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」または「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

本機に添付されているMcAfee VirusScan Onlineでは、新種のウイルスを検出できない場合があります。新種ウイルスに対応するため、ウイルス定義(DAT)ファイルを更新する必要があります。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加をご覧ください。

8. 上手な使い方

① トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。

詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A』トラブルを予防するには...』をご覧ください。

② 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 液晶一体型』「PART4 付録」本機のお手入れ」をご覧ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XPまたはWindows 2000および本機に添付のフロッピーディスク、CD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10) 本書に記載しているWebサイトは、2003年10月現在のものです。

Microsoft、Windows、Officeロゴ、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、Pentium、およびCeleronは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標あるいは登録商標です。

当該文書の本文で使用される全ての登録商標名McAfee、VirusScanは米国法人Network Associates, Inc. またはその関係会社の登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。Sonic RecordNow、およびSonic DLAは、米国Sonic Solutionsの登録商標です。

InterVideo、InterVideoロゴ、WinDVDはInterVideo, Inc.の商標または登録商標です。

Copyright 1999, 2003 InterVideo, Incorporated. All rights reserved.

StandbyDisk Soloは、StandbySoft LLC / (株)ネットジャパンの商標です。

StandbyDisk Solo RBは、StandbySoft LLC / ㈱ネットジャパンの商標です。

Symantec、Symantec ロゴは、Symantec Corporationの登録商標であり、Symantec Corporationの各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。

©2003 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 2003年 11月

©NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2003

日本電気株式会社、NECパーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

853-810602-115-A

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。